

1. 第 39 期（令和 7 年度）事業計画

(1) 本 社 事 業 部（富山市民プラザビル）

市民プラザビルの運営にあたっては、賑わいの創出を図り、中心地区活性化に寄与することを大きな目標に掲げ、時代の変化（近隣商業環境、経済状況、消費動向、情報通信技術の進展、ライフスタイルの変化等）に対応した施設運営を図ってまいりました。

今期は、まちなか学生シェアハウス fil の入居者が増加したことに伴い、家賃収入、共益費収入が増加したほか、同施設 1 階の食堂やコインランドリーの売上も増加していることから事業収入も増えております。また、当ビルにおいても賑わい創出のための集客イベントを実施し、館内店舗の売上や客数が増加しております。

一方で、人件費や各種委託費及び水道光熱費が増加しており、増収減益となる見通しです。

第 39 期（令和 7 年度）は、全社的な財政状況を注視しつつ、従来どおり施設の適正な維持管理に努め、安心かつ快適に利用できる施設を目指します。また、ニューヨークタイムズ紙に「2025 年に行くべき都市」として富山市が選ばれたことから、旅行業（まち歩き事業）に注力し、富山市の魅力を多くの方に歩いて感じていただけるように努めてまいります。

(2) 駐 車 場 事 業 部（グランドパーキング）

グランドパーキングの運営にあたっては、中心商店街の活性化に寄与できるよう「明るい・きれい・とめやすい」施設の運営管理を心がけております。

今期は、利用台数及び売上ともに微減で推移しており、その結果、売上については前年比 3%程度の減少となっております。また、能登半島地震の影響で破損した復旧工事を段階的に実施しており、今期は外壁復旧工事を実施しました。一時期エレベーターの使用を制限しましたが、現在は復旧しています。

第 39 期（令和 7 年度）は、地震により破損した消火設備の復旧工事など、修繕費が大きく増加することが想定されていることから、経費節減を図りながら施設の維持にも努めるとともに、定期駐車利用客を一定数確保することで売上を維持してまいります。

(3) まちづくり事業部（旧・株式会社まちづくりとやま）

まちづくり事業部の運営においては、今期も地場もん屋の売上が順調に伸びており、過去最高となる見込みです。さらに、まいどはやバスの乗車料収入も増加しており、市内保育園児による車内アナウンスは地元市民を含めた利用者に好評を得ております。また、グランドプラザは、前期は地震の影響で稼働ができない時期がありましたが、今期は令和5年実績まで回復しております。

一方で、人件費の増加、各種委託費及び水道光熱費が増加していることから本社事業部同様に大幅な増収減益となる見通しとなっております。

第39期（令和7年度）は、引き続き地場もん屋において安定的な売上を維持するなど自主財源の確保に努めます。また、グランドプラザの利用料収入やコミュニティバス事業の収支改善に努めるとともに、当事業部が不採算事業の対応に追われないよう、また、補助金に依存する体質から脱却できるよう取り組んでまいります。

こうした現状を踏まえながら、次の事業に取り組んでまいります。

- (1) 富山市民プラザビルの賃貸と管理運営
- (2) まちなか学生シェアハウス fl の管理運営
- (3) グランドパーキングの管理運営
- (4) 地場もん屋の安定的な収益の確保
- (5) 賑わいと話題性溢れるイベントの実施

2. 第 39 期（令和 7 年度）収支計画

（単位：千円）

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
家 賃 収 入	472,300	〔仕 入 高〕	50,600
共 益 費 収 入	144,700	人 件 費	298,300
駐 車 場 収 入	212,000	一 般 管 理 費	517,800
事 業 収 入	240,900	イベント事業費	38,500
受 託 料 収 入	64,000	租 税 公 課	79,700
補 助 金 収 入	123,700	解 体 撤 去 費	1,900
雑 収 入	8,800	小 計	936,200
受 取 利 息 等	1,040	減 価 償 却 費	276,300
合 計	1,267,440	合 計	1,263,100
差 引 額			4,340